



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日
東

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所
コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-5334-4899
(COO兼CFO)
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	79,885	14.9	21,786	31.2	23,742	39.0	14,938	38.8
24年12月期第3四半期	69,526	△3.9	16,611	△17.2	17,081	△21.8	10,766	△20.1

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 19,758百万円(69.2%) 24年12月期第3四半期 11,678百万円(△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	112.94	112.10
24年12月期第3四半期	81.84	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	242,766	131,666	53.2
24年12月期	219,007	113,492	49.9

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 129,172百万円 24年12月期 109,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	ー	0.00	ー	67.0	67.0
25年12月期	ー	0.00	ー	ー	ー
25年12月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年12月期の期末配当については未定です。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,200	14.2	26,400	17.8	28,100	24.0	17,100	27.2	130.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期3Q	140,293,004株	24年12月期	140,293,004株
25年12月期3Q	6,012,424株	24年12月期	8,732,135株
25年12月期3Q	132,273,003株	24年12月期3Q	131,557,478株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報等	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	売上高		
	平成25年12月期 第3四半期(累計)	平成24年12月期 第3四半期(累計)	増減率
日本	35,905	34,146	5.2%
北米地域	17,567	13,893	26.4%
欧州地域	14,940	12,114	23.3%
アジア・パシフィック地域	9,509	7,811	21.7%
中南米地域	1,962	1,559	25.8%
合計	79,885	69,526	14.9%

当第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年9月30日)における世界経済は、穏やかな景気拡大が続いているもののF R Bによる金融緩和の縮小影響が懸念される米国経済をはじめ、失業率が過去最悪水準ながらも下げ止まりの兆しを見せる欧州経済、引き続き減速傾向が見られる新興国経済など、依然として不透明な状況でありました。

わが国経済は、政府の積極的な経済政策の効果によって穏やかな景気回復のなか推移しました。大企業を中心に収益に改善がみられるほか、個人消費は底堅く、課題であったデフレも脱しつつある兆候を見せ、日本経済は回復しつつあります。

情報産業につきましては、引き続き世界的にサーバ仮想化を含むクラウドコンピューティングとそれに伴うI Tサービスなどの需要は高まりつつある中、パソコン出荷台数はパソコンからタブレット端末に需要が移る傾向が続き、欧州や中国などの新興国での減少が続いています。しかしながら国内市場においては企業の景況感の改善に伴いI T投資意欲は回復しつつあります。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものでありました。

日本地域は企業向けビジネスが堅調に伸び、またスマートフォンなどの新しいデバイス向けのセキュリティサービスが収益に寄与し始めた個人向けビジネスと共に増収を維持しました。その結果、同地域の売上高は35,905百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

北米地域におきましても、クラウド関連ビジネスの伸張を受けた企業向けビジネス及び個人向けビジネスが現地通貨ベースにおいても増収となりました。また円安の影響も大きく受け、同地域の売上高は17,567百万円(前年同期比26.4%増)の二桁増収となり、当社グループ販売地域の中で最も大きく伸張しました。

欧州地域につきましても円安の影響を大きく受け、二桁成長となりました。しかしながら現地通貨ベースにおいては、同地域を牽引する企業向けビジネスが低調な経済状況の影響を受け弱く、個人向けビジネスの拡大も同地域の今後の課題であります。その結果、同地域の売上高は14,940百万円(前年同期比23.3%増)となりました。

アジア・パシフィック地域につきましても円安の影響が大きく、企業向けビジネス及び個人向けビジネス共に二桁成長の増収となりました。オーストラリアと引き続き好調な中国が同地域を牽引した結果、同地域の売上高は9,509百万円(前年同期比21.7%増)となりました。

中南米地域につきましては堅調なブラジルのほかメキシコがやや回復し、加えて円安の影響もあり、同地域の売上高は1,962百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

その結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における売上高は79,885百万円(前年同期比14.9%増)と全地域において増収となりました。

一方費用につきましては、全般的に円安の影響を大きく受けました。マーケティング費用などは減少したものの、人件費を中心に増加し、売上原価および、販売費及び一般管理費の合計費用は58,098百万円(前年同期比9.8%増)となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益は21,786百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の経常利益は有価証券売却益が増加したことなどにより23,742百万円(前年同期比39.0%増)、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は新株予約権戻入益の減少があるも、14,938百万円(前年同期比38.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は70,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,271百万円増加しました。また現金及び預金と投資有価証券が大幅に増加したことなどにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ23,758百万円増加の242,766百万円となりました。

一方、当第3四半期連結会計期間末の負債は未払法人税等が減少したものの、未払金や繰延収益が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ5,583百万円増加の111,099百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金が増加したことに加え自己株式と為替換算調整勘定のマイナスが減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ18,174百万円増加の131,666百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年5月9日に公表した通期業績予想の変更はございません。

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは困難であると考えておりますが、当社グループの通期の業績については、日本地域は前年同期比5%程度の増収、北米地域、欧州地域は前年同期比20%程度の増収を想定しております。これらを勘案し、通期連結業績につきましては、以下の数値を予想しております。

平成25年12月期通期業績見通し(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

連結売上高	107,200百万円
連結営業利益	26,400百万円
連結経常利益	28,100百万円
連結純利益	17,100百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	97円
1ユーロ	127円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,732	70,003
受取手形及び売掛金	20,999	20,950
有価証券	64,110	55,568
たな卸資産	370	425
繰延税金資産	14,775	14,633
その他	4,375	5,386
貸倒引当金	△104	△160
流動資産合計	159,259	166,807
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	3,364	3,202
その他（純額）	1,073	1,180
有形固定資産合計	4,437	4,383
無形固定資産		
ソフトウェア	5,740	6,027
のれん	960	816
その他	1,169	1,041
無形固定資産合計	7,870	7,885
投資その他の資産		
投資有価証券	35,292	52,096
関係会社株式	190	38
繰延税金資産	10,739	10,336
その他	1,217	1,218
投資その他の資産合計	47,440	63,690
固定資産合計	59,748	75,958
資産合計	219,007	242,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727	992
未払金	3,758	5,453
未払費用	4,844	4,040
未払法人税等	5,678	2,070
賞与引当金	840	1,541
返品調整引当金	602	1,079
短期繰延収益	59,286	62,356
その他	2,306	3,016
流動負債合計	78,044	80,551
固定負債		
長期繰延収益	24,464	26,004
退職給付引当金	2,371	2,760
その他	634	1,782
固定負債合計	27,471	30,547
負債合計	105,515	111,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,386	18,386
資本剰余金	21,111	21,679
利益剰余金	102,451	108,575
自己株式	△26,440	△18,049
株主資本合計	115,509	130,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	1,315
為替換算調整勘定	△6,810	△2,735
その他の包括利益累計額合計	△6,238	△1,419
新株予約権	4,213	2,485
少数株主持分	7	8
純資産合計	113,492	131,666
負債純資産合計	219,007	242,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	69,526	79,885
売上原価	12,936	14,736
売上総利益	56,589	65,149
販売費及び一般管理費	39,977	43,362
営業利益	16,611	21,786
営業外収益		
受取利息	958	1,063
有価証券売却益	254	1,184
持分法による投資利益	5	—
その他	101	88
営業外収益合計	1,319	2,336
営業外費用		
支払利息	4	5
有価証券売却損	101	0
有価証券評価損	51	—
為替差損	459	139
持分法による投資損失	—	1
その他	233	234
営業外費用合計	850	380
経常利益	17,081	23,742
特別利益		
新株予約権戻入益	3,765	74
関係会社株式売却益	—	403
特別利益合計	3,765	478
特別損失		
有価証券売却損	1,334	—
特別損失合計	1,334	—
税金等調整前四半期純利益	19,512	24,221
法人税等	8,746	9,282
少数株主損益調整前四半期純利益	10,765	14,938
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	10,766	14,938

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,765	14,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	763	739
為替換算調整勘定	149	4,076
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	3
その他の包括利益合計	912	4,819
四半期包括利益	11,678	19,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,665	19,756
少数株主に係る四半期包括利益	12	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,512	24,221
減価償却費	5,051	5,376
株式報酬費用	1,679	573
新株予約権戻入益	△3,765	△74
のれん償却額	527	251
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	45
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△305	451
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	264	314
受取利息	△958	△1,063
支払利息	4	5
持分法による投資損益 (△は益)	△5	1
有価証券売却損益 (△は益)	1,181	△1,184
有価証券評価損益 (△は益)	51	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△403
売上債権の増減額 (△は増加)	1,811	1,426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	129	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△226	182
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	66	△1,444
繰延収益の増減額 (△は減少)	3,094	521
自社株連動型報酬 (△は減少)	—	1,621
その他	1,216	557
小計	29,330	31,356
利息及び配当金の受取額	855	1,115
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△8,049	△12,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,131	19,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△2,246	208
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△56,299	△79,575
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	35,824	75,101
有形固定資産の取得による支出	△931	△1,601
無形固定資産の取得による支出	△2,828	△3,302
関係会社株式の売却による収入	—	559
その他	△103	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,584	△8,611

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△1,848
自己株式の処分による収入	12	8,580
配当金の支払額	△10,798	△8,411
新株予約権の買入消却による支出	△165	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,951	△1,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△156	4,865
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△15,561	14,402
現金及び現金同等物の期首残高	71,167	50,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,606	64,848

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	34,146	13,893	12,114	7,811	1,559	69,526	—	69,526
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,517	1,157	554	8,702	7	13,939	△13,939	—
計	37,664	15,050	12,669	16,513	1,567	83,465	△13,939	69,526
セグメント利益	13,800	953	646	713	353	16,466	144	16,611

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・
マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額144百万円は、その全額がセグメント間消去の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	35,905	17,567	14,940	9,509	1,962	79,885	—	79,885
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,103	1,705	713	11,194	10	16,728	△16,728	—
計	39,009	19,272	15,654	20,704	1,972	96,613	△16,728	79,885
セグメント利益	15,250	3,363	2,081	892	449	22,037	△250	21,786

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額△250百万円は、その全額がセグメント間消去の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。